

令和6年度 妊婦歯科健診受診結果 (令和6年4月～令和7年3月実施分)



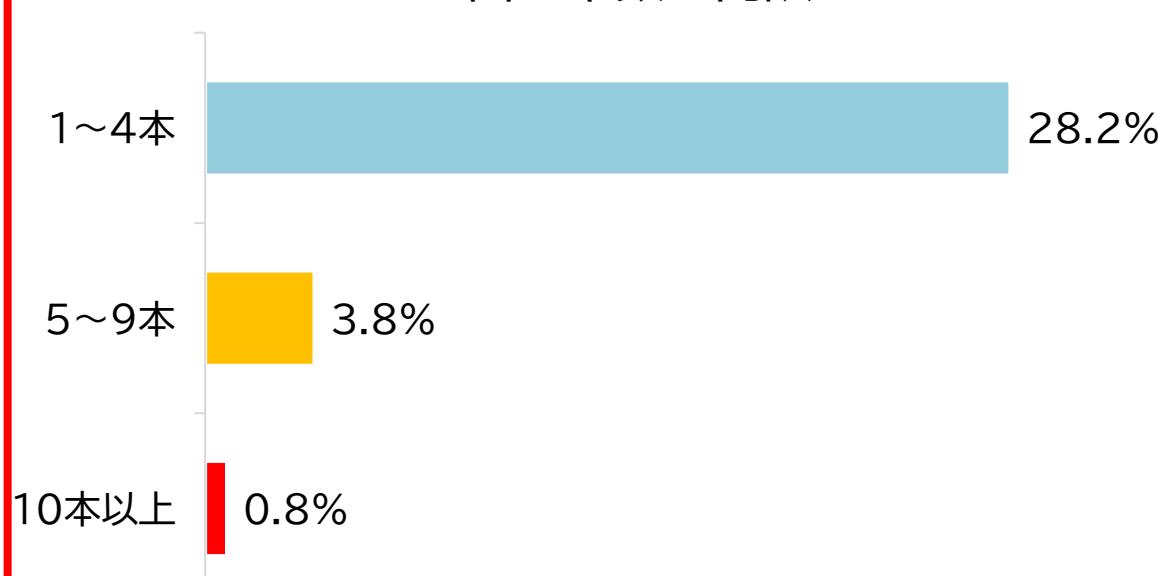
八王子市
2025年10月作成

むし歯がある妊婦



10人中、約**4**人(32.8%)

むし歯の本数の内訳

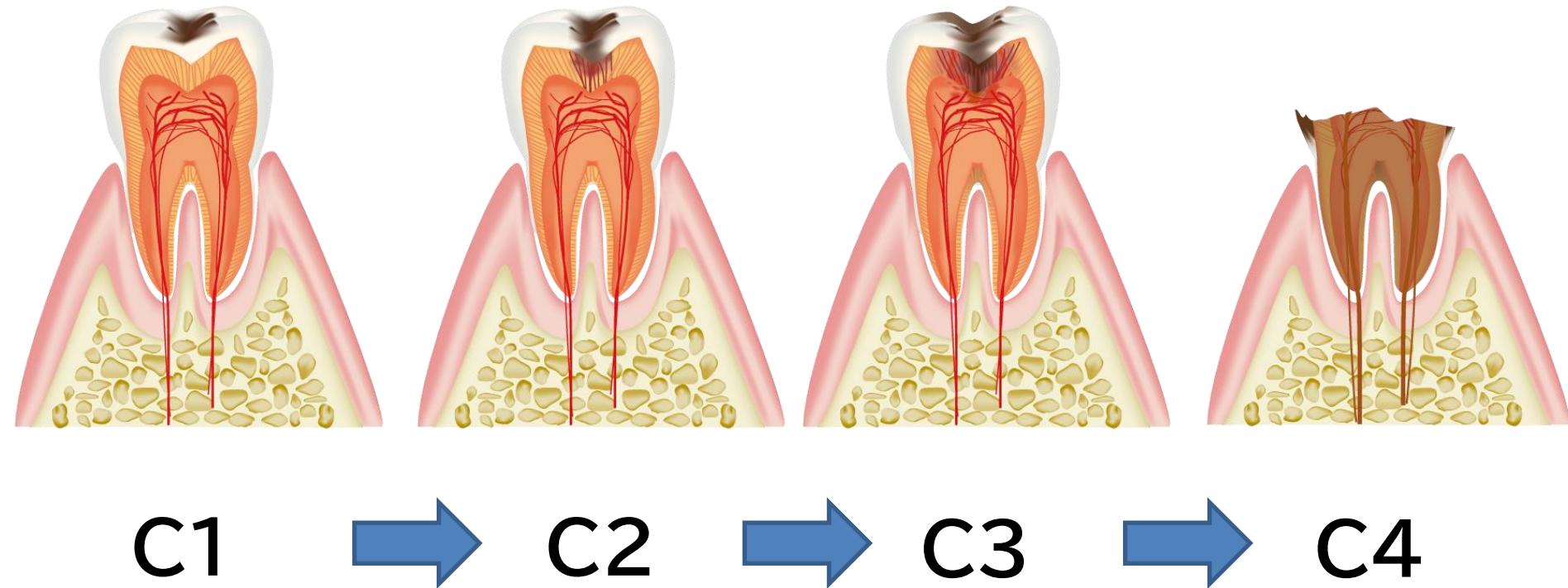


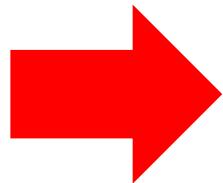
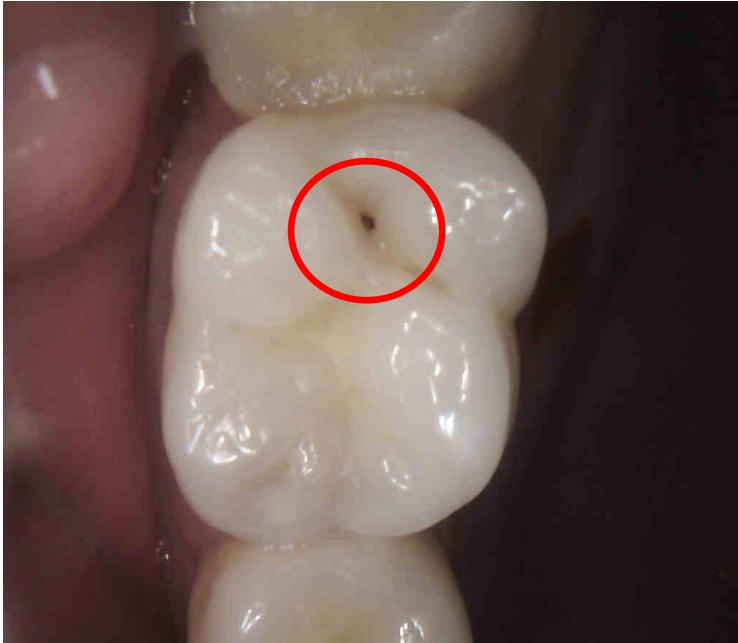
むし歯がある妊婦さんは
3割以上も！
むし歯が**11本**もある妊婦
さんもいます。



むし歯とは？

歯垢の中のむし歯菌が作った酸によって、歯が溶ける病気です。溶けた歯は元に戻りません。





むし歯は見た目が小さくても、歯の中でもし歯が広がっていて、歯の神経を取らないといけないことがあります。痛みがなくても放置せず早めの治療をお勧めします。

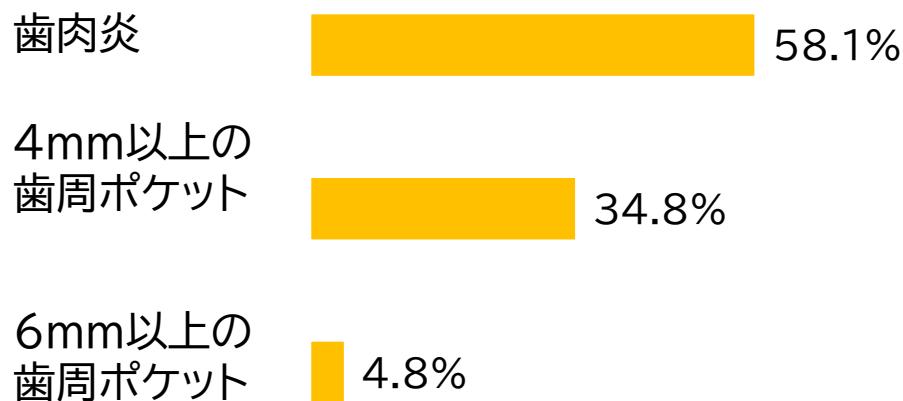


歯周病の妊婦

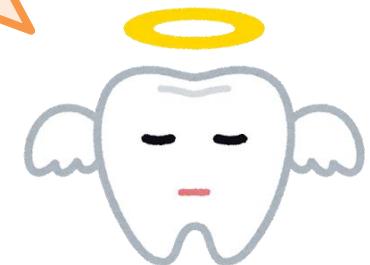


10人中、約**6**人(58.1%)

歯周病の内訳

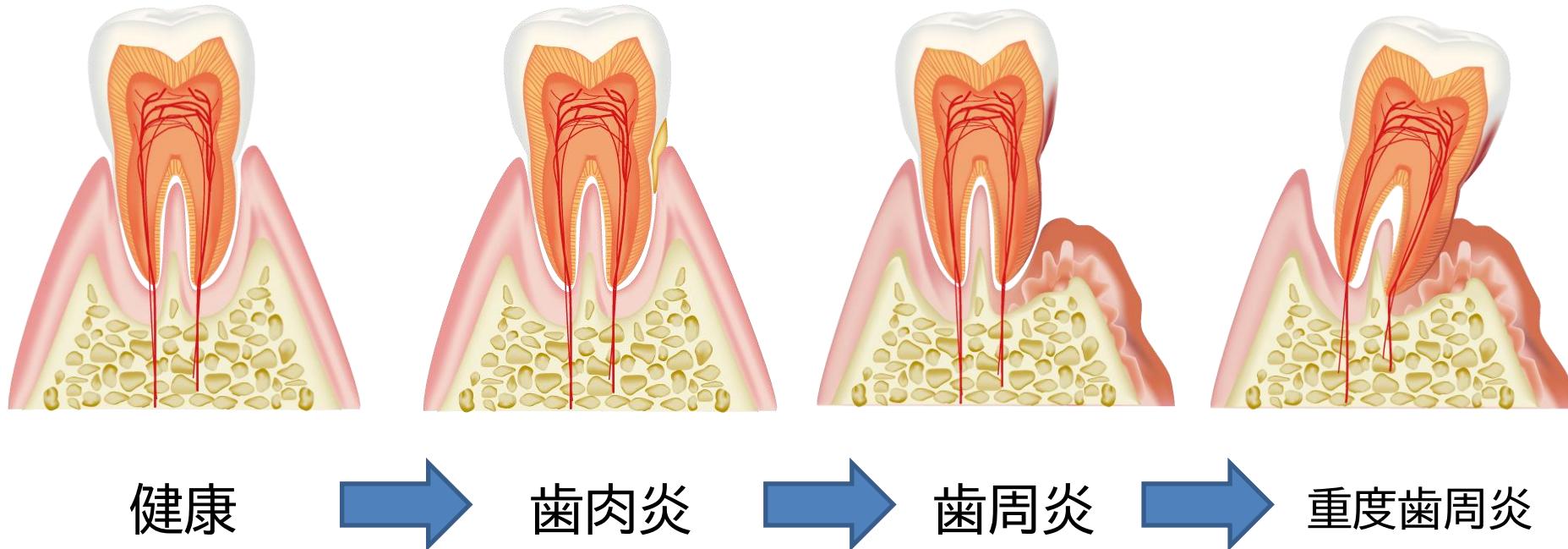


歯を失う原因の1位は歯周病です。
歯肉炎の妊婦さんは6割近くいます。



歯周病とは？

歯垢の中の歯周病菌が、歯肉に炎症を起こしたり、歯を支える骨（歯槽骨）を溶かしてしまう病気です。歯肉炎と歯周炎の総称を**歯周病**と言います。妊娠中はホルモンの影響で妊娠性歯肉炎になるリスクが高まります。





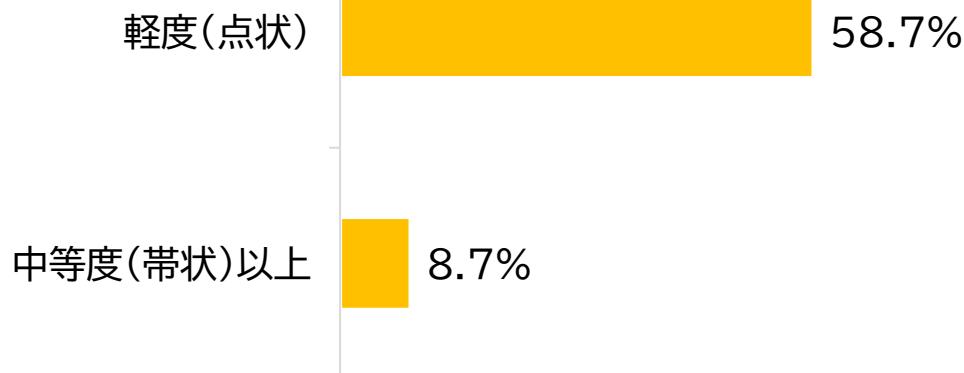
日本大学歯学部歯周病学講座 准教授 高山 忠裕 先生よりご提供 無断引用・転載禁止

歯石がある妊婦



10人中、約**7**人(67.4%)

歯石の付着状況

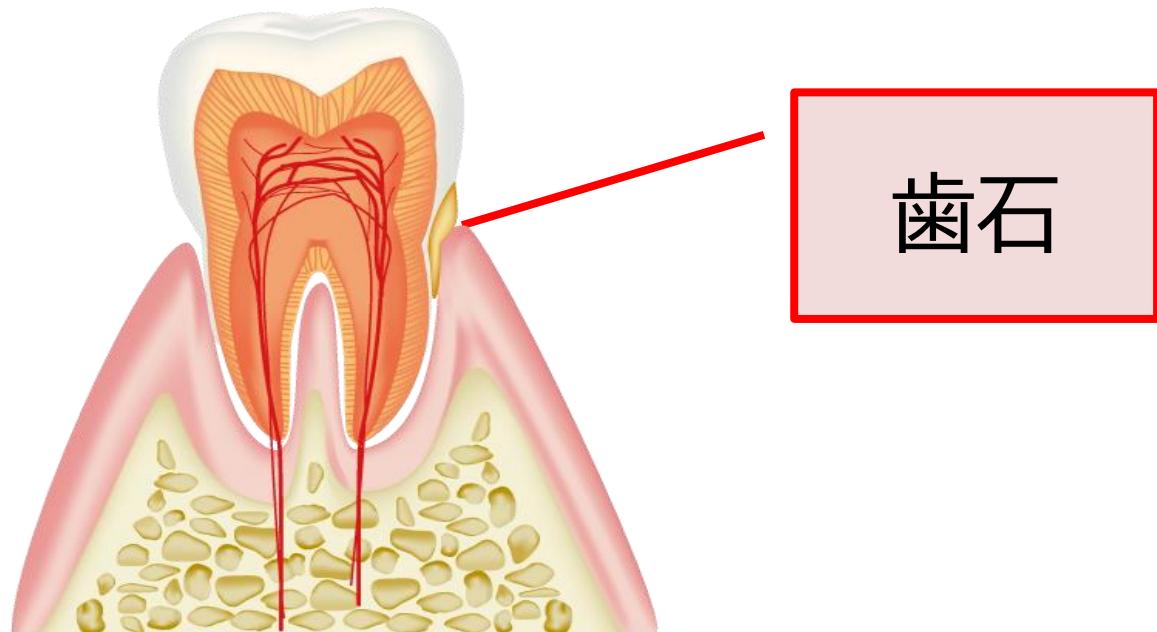


歯石が付いている妊婦さんは
7割近くもいます！
歯石は歯周病悪化の原因です。



歯石とは？

歯石は歯垢が石灰化(硬くなる)したものです。みがき残した歯垢を放置すると2~3日で石灰化が始まり歯石になります。歯石の表面は細菌が付きやすく、むし歯、歯周病、口臭のリスクが高くなります。※歯石は歯肉の中にも付きます。





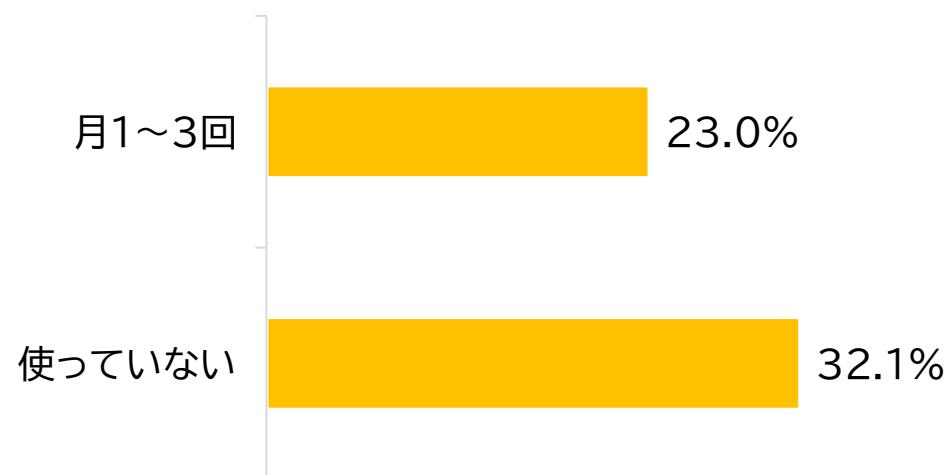
八南歯科医師会 八王子支部 みねぎし歯科医院 峯岸 忠 先生よりご提供 無断引用・転載禁止

デンタルフロス、歯間ブラシを毎日使つてない妊婦



10人中、約**6**人(55.1%)

フロス、歯間ブラシの使用頻度



フロスや歯間ブラシを毎日使わないとお口の中が汚れたままで
むし歯、歯周病、口臭の原因に！

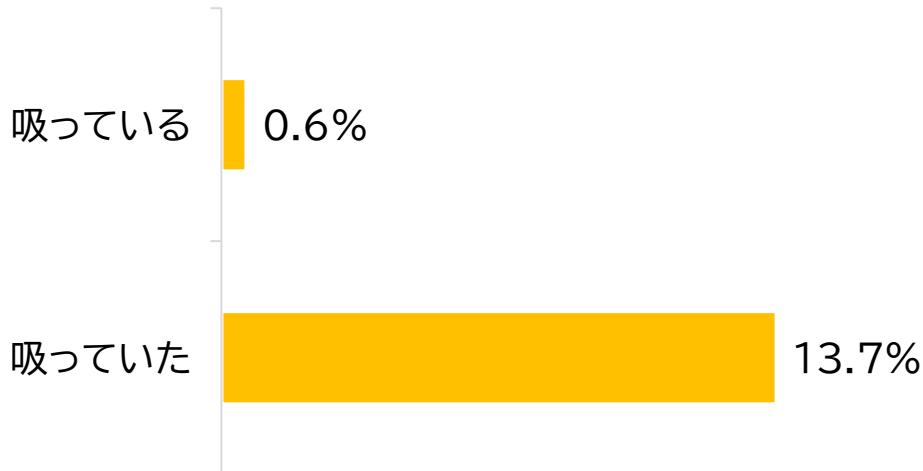


喫煙習慣がある妊婦



10人中、約**2**人(14.3%)

たばこを吸ったことがありますか



喫煙は胎児への影響だけでなく、歯周病を悪化させる原因でもあります。



定期健診を受けてない妊婦



10人中、約**6**人(56.4%)

1年以内に定期健診を受けましたか

受けた 43.3%

受けない 56.4%

むし歯や歯周病は自然に治ることはありません。定期健診を受けて
むし歯や歯周病を予防しましょう。



かかりつけ歯科医院がない妊婦



10人中、約**7**人(63.5%)

かかりつけ歯科医院はありますか

ある 35.9%

ない 63.5%

かかりつけ歯科医院があると
治療やお口の中の状態について
継続的に診てもらえるので安心
です。

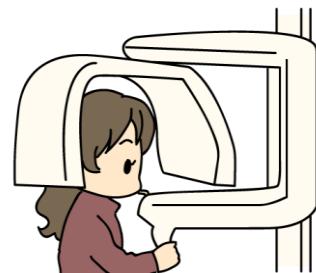


妊娠期の歯科治療について

妊娠中でも治療は可能です。体調が落ちている定期検診に受けましょう。

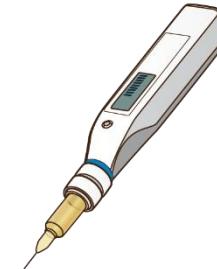
レントゲン撮影

歯科治療のX線被ばく量は
かなり低いレベルです。
歯科では首から上の撮影に
なるため、胎児への影響は
ほとんどありません。



麻酔

歯科治療の麻酔は局所
麻酔なので通常の使用量
であれば胎児への影響は
心配ありません。



薬の服用

妊娠中の投薬はできる限り控えますが、
痛みなどの症状を抑える場合は必要
最小限を処方することもあります。
服用については産科医、歯科医に
相談しましょう。



治療で気になることがあれば産科医や歯科医に
相談しましょう。



赤ちゃんのために

むし歯、歯周病、歯石があった方は早めに治療を受けましょう。

むし歯

むし歯が進行すると痛みが強くなったり、治療の回数や費用が増えます。



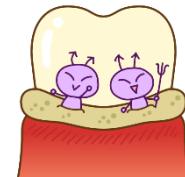
歯周病

妊娠中の歯周病は早産や低体重児出産のリスクが高まります。



歯石

歯石はむし歯、歯周病、口臭を悪化させます。



むし歯や歯周病で悪くなってしまった歯を健康な状態に戻すことはできません。お口の健康のためににはかかりつけ歯科医院での定期健診がお勧めです。赤ちゃんのむし歯予防のためにも妊婦さんだけでなくご家族も歯科健診を受けましょう。

お口の健康のために家庭でのセルフケアも大切です。食生活に気を付けたり、歯みがきは歯ブラシだけでなく、デンタルフロスや歯間ブラシも使いましょう。

